



ブルー
ローズ
ナイト
Blue Moon

R18
ADULT
ONLY

誓いを此処に

我は常世総ての
善と成る者

我は常世総ての
悪を敷く者

曇天の空には一筋の光

汝三大の言霊を
纏う七天

雷鳴が雨の気配を
連れて来る

抑止の輪より来たれ
天秤の守り手よ——！

「No...」

オ

満月を
溶かした様な
蜜色の冷たい瞳

目元には
印象的な泣き黒子

薄露のかかった
闇の中から現れた
私のサーヴァントは

伝承の通り
恐ろしく美しい
男だった

……問おう

私は

……貴女が
私のマスターか





その姿形を
気にするよりも

自分の

致命的なミスに
血の気を失った

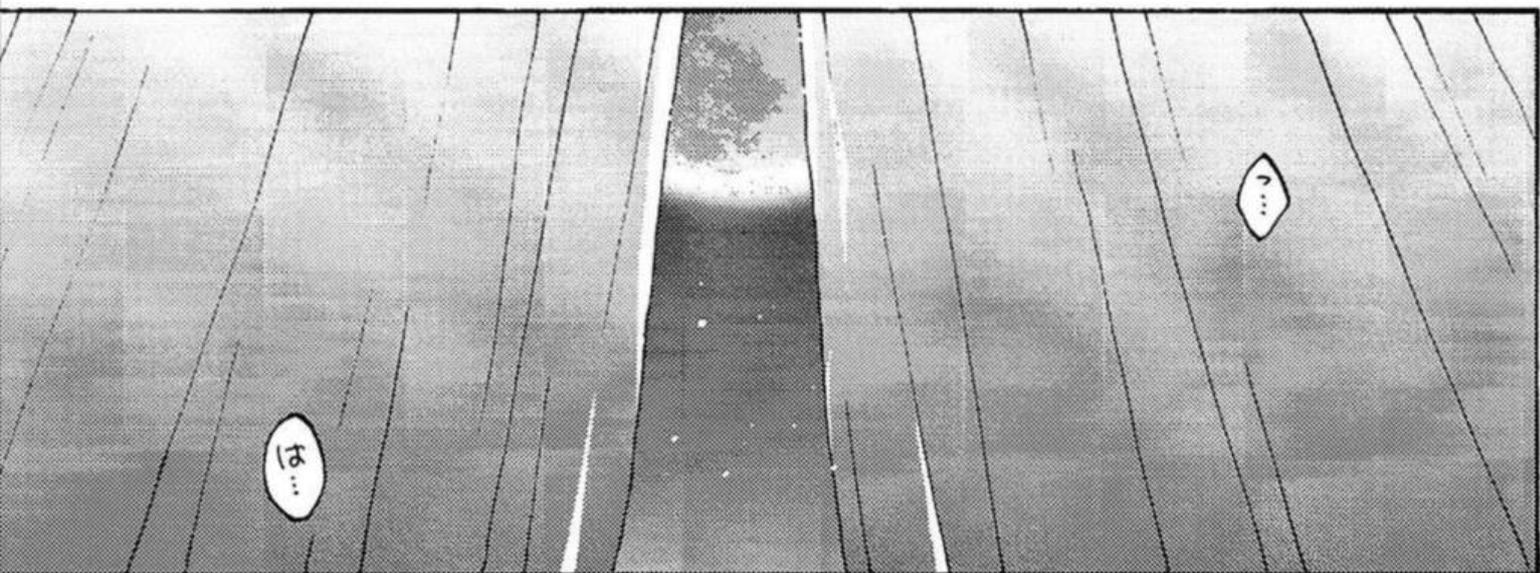
++
++
—

++

! Attention !

マスターアルトリアとディルムッドで魔力供給話です。
記録オディナのはずですが何だか記憶があるみたいな
感じになっている超時空です。

ブルームーン
Blue Moon
R18
AGE 18
ONLY







確実に

固く大きくなって
行くのはわかる

ちやんぽろ

ちやんぽろ

ちやんぽろ

ちやんぽろ

これで
大丈夫なの
だろうか…

ま

ま

では…

ま

ま

ま

もう…いらいます

ある…じ
主

あ
はい…

…主

ま

ま



何か？

…そのままでは
入りません

何か？
こぼれなく…

!!!

しし

あん

ふき

ふき



さ...
ロジけなど
するはずが
ない

...そう

はむ

当たり前だ

...貴方は
第四次に
ランサークラスで
参戦したと...



これは
パスを繋げる
為の行為でしか
ないのだから



ええ
情報としては
ですが



あまり参考には
ならないかと…



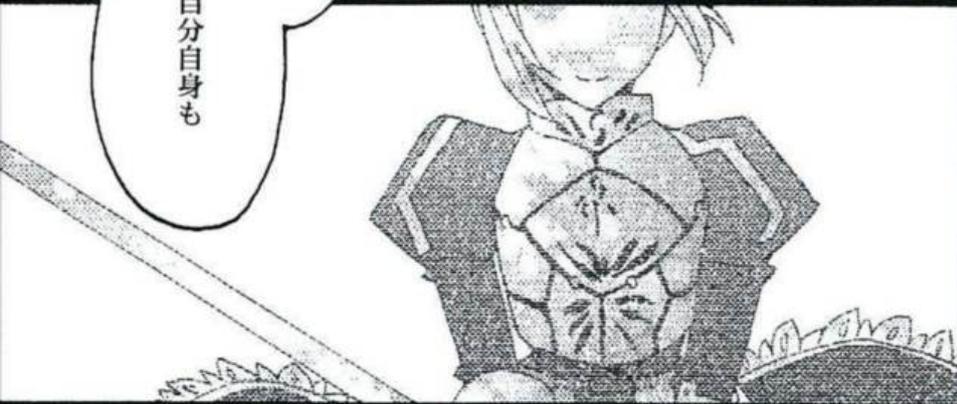
……
経緯と結末は
ご存知かと
思います



かつての主も…
自分自身も



…私が前回
学んだのは
頑な感情は
身を滅ぼす
と言う事です



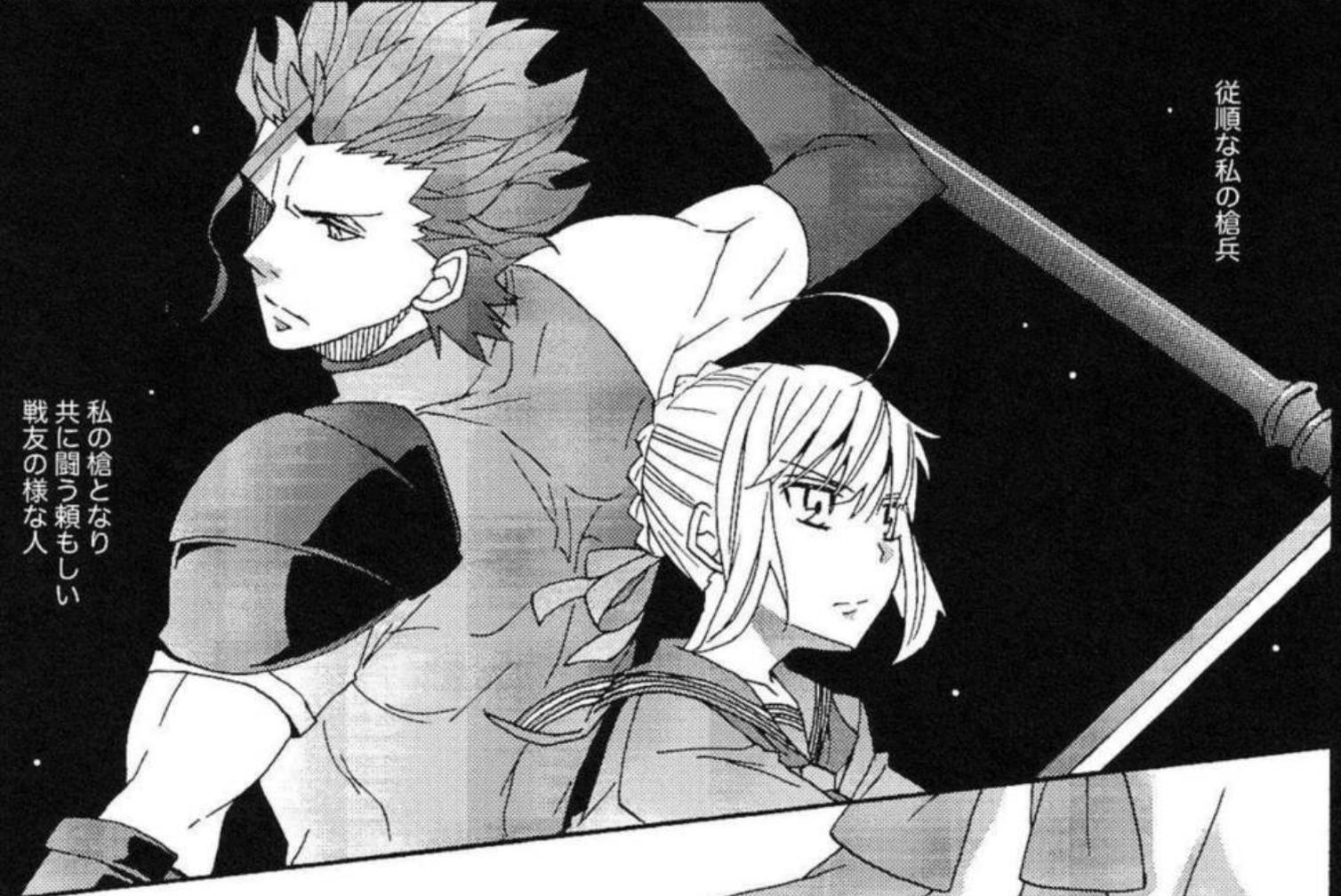
視線

私の後ろに
何を見ている
のですか



そうやって
感情を
否定しながら

貴方は



従順な私の槍兵

私の槍となり
共に闘う頼もしい
戦友の様な人

時折

その鋭い
切っ先で

後ろ首を

撫でられている
かのように
感じられるのは

少し…

濡れている





全然
足りません

貴女のこは
小さい

十分に準備を
しなければ…

前回痛みでバスを
繋げるどころでは
なかったのを
お忘れか？

かあああ…

だ…
から…

大丈夫だと
言ったのです…



すっ…

誰の物と
比べている
のです？

あ…
貴方の
サイズが…

そ…
それは私のせい
ばかりでは…

誰の物とも
比べていない！

ですが…

とても
入る大きさとは…

知らない…

ホッ



…入ります



そのように
できている
のですから



一度入れたでしょう

…こんな
触り方ッ



優しく
撫でている
様なのに

くすぐりたい
のよは嫌ッ…っ



ふ…あ
あッ♡

チクッ
チクッ

チクッ

ク

チクッ

チクッ



クワッ

主... 声を

あッ...

さあ



はー

あッ...







そう言いながら貴方は



疑っている
わけではない

それでも

彼の視線に
含む物を
感じるの



かつて

彼を滅ぼした
陣宮の
サーヴァント

アーサー王…

ペンドラゴン…



私と…同じ名

下らない…
—名など…
そんな理由で彼が…

ア
ニ
マ



無論です





…名など



偶然に過ぎない

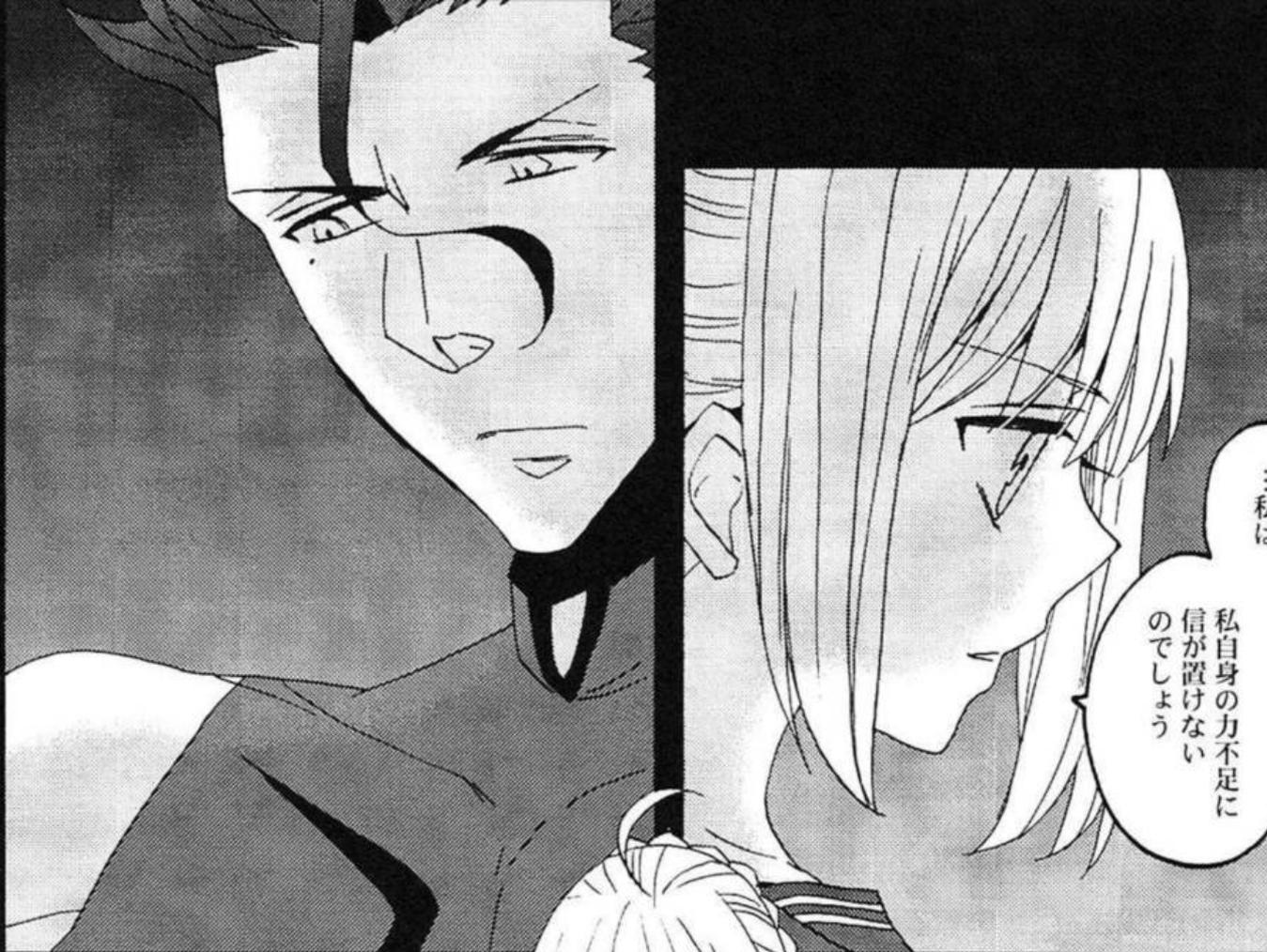


…主は私が信用
できませんか？



詮無き事を
言いました…

貴方をではない



…私は

私自身の力不足に
信が置けない
のでしよう



だから

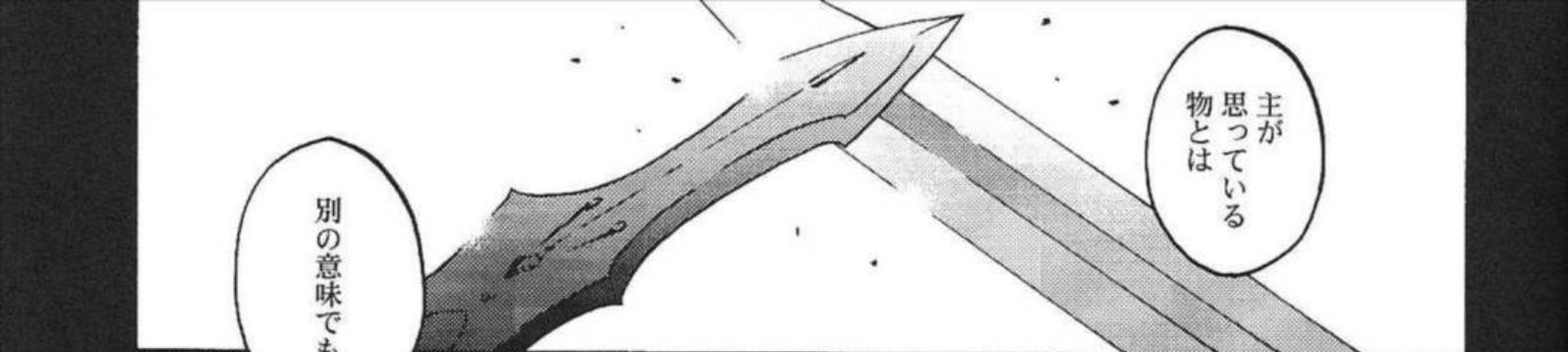
貴方も
不甲斐ない主に
信をおけきれない
のでは…

などと
考えてしまう



…確かに

騎士王は
因縁のある
相手でした



主が
思っている
物とは

別の意味でも



最期の闘いで

俺の槍が
決るべきは
彼女の心臓であり

俺の心臓が
決られるとしたなら
彼女の剣であるべきだと



……そう
思っていました



—俺…



光に目が眩んだ

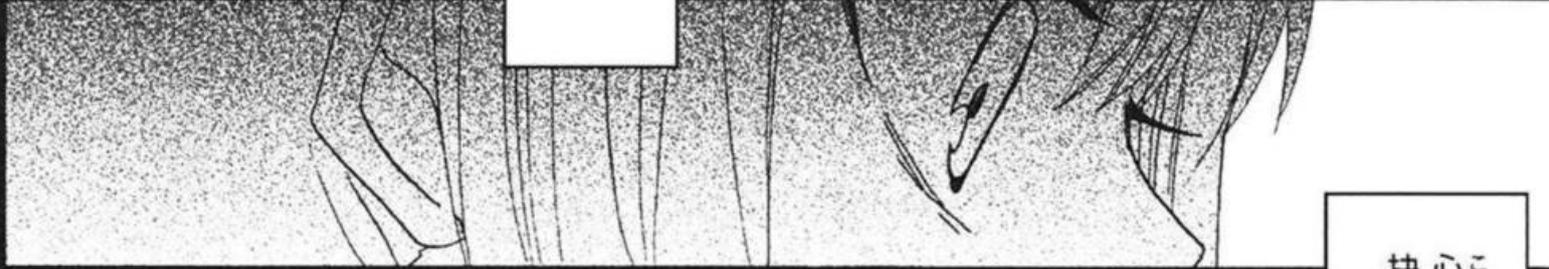
その
凝り固まった
思いが
あの結末を
引き寄せた

闘いがどんな物が
知らぬわけでも
あるまいに

ひかり



彼女



こころ
心臓を
抉り取る

…とられる
ならば

ア



それは…

まるで
愛の告白の様
ですね…

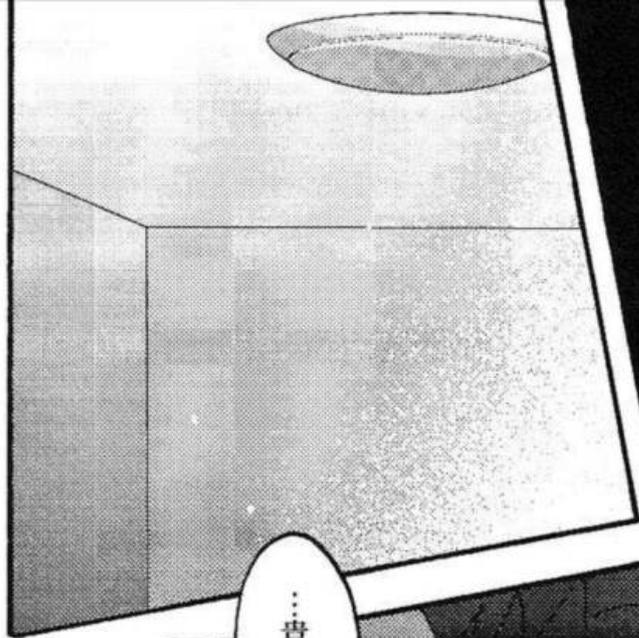


……主

ため息をついて

瞳は
眇められた

静かに怒
露にして



…貴方は

私…の
サーヴァント
…です



それは



彼が初めて
私に見せた



私は何を
言っているのだ

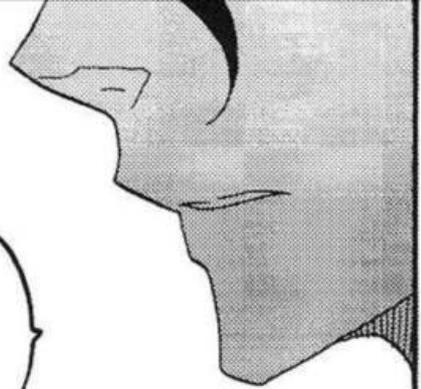
本当の
こころに見えた



私の……



無論……
私は
貴女のものです



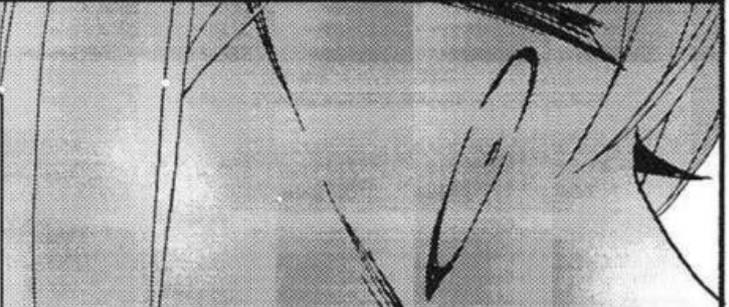
貴女の

騎士です



……ごめん

私の





私は何も…
失うのは貴女です
…主

こんな…事を
強いてしまって



ものなどでは
ないのに



…様は余計です

……
アルトリア…



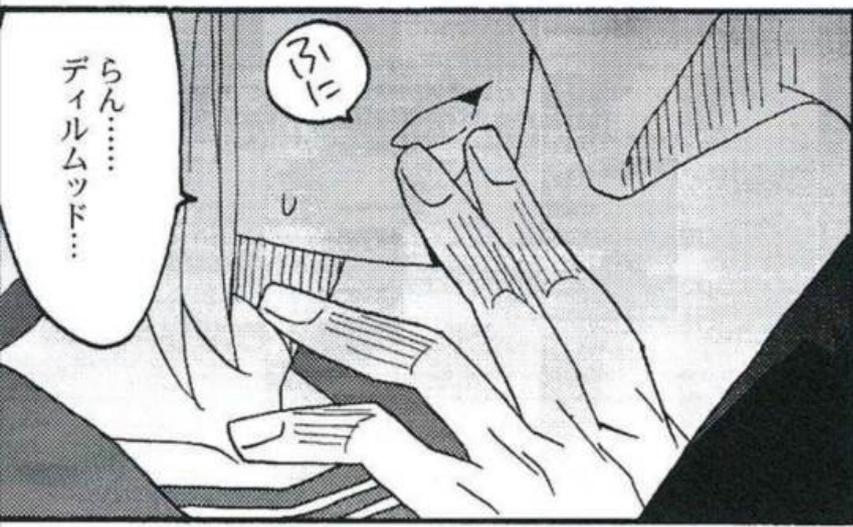
…アルトリア

…?

アルトリア
です…



……アル……ト
……さま



恋しい者

かつての主にも
言われました

それで私を
守ったつもり
ですか？

私は本当に
愚かなのでしよう

「ハッ」



あ...あ...

ピリピリ

ピリピリ

ピリピリ

ピリピリ

グリップ

あんなに痛かったのに

あ...あ...

ピリピリ

いれて...欲しいと...

グリップ

あ...あ...



あたま…
からだ…
しびれて…

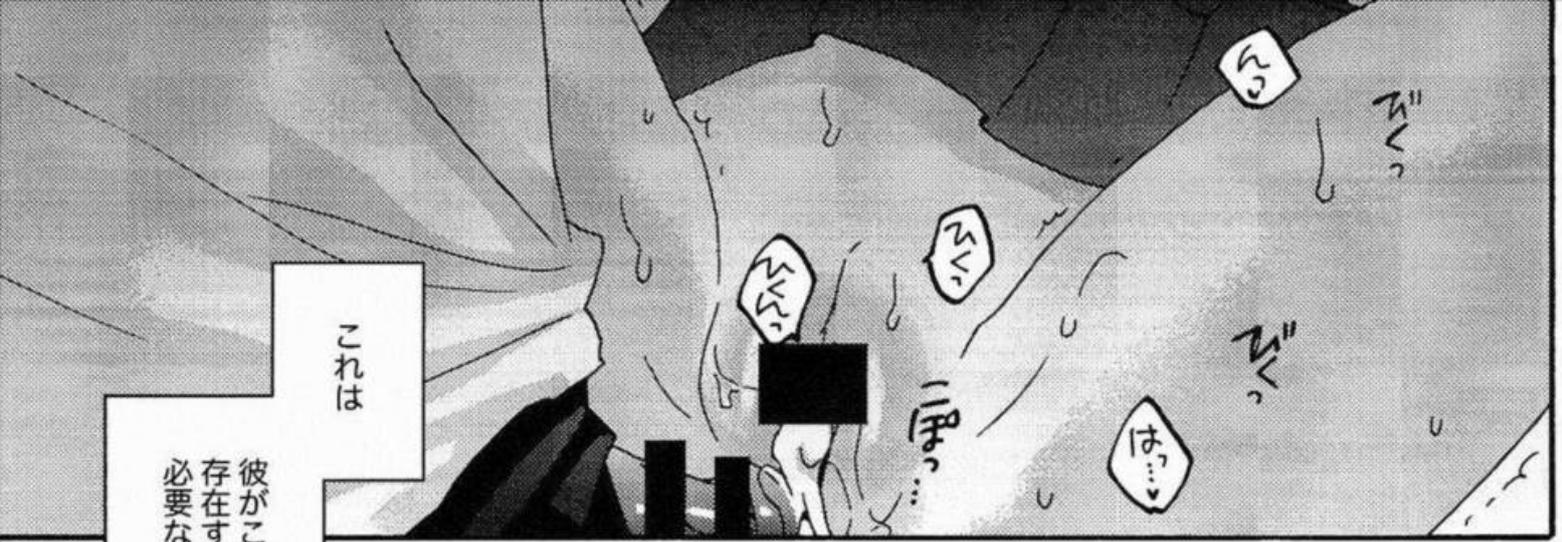
変な声…
恥ずかしい
でも

なにも
わ

頭の片隅で



大丈夫だから
と誰かが言



これは

彼がここに
存在する為
に必要な行為



だから
今はこの人を
抱きしめても

ブルームーン

Blue Moon



Fate/Zero UNOFFICIAL FAN BOOK
Diarmaid × Master Artoria



最初は、オフ本終わったらマスターアルトリアでコピー20Pぐらいの魔力供給えろ描きたいなーと思っていたのですが、オフ用の中学生ネタが上手くまとまらなくて、急遽こっちをオフで出す事にしまして、じゃあオフで出すからシリアス入れて28Pぐらいにしよう〜と軽く見積もってた結果が何故か48P。お前の計算は本当にあてにならない誤差ってレベルじゃないぞ…と自分に思いました。

結構前にメモっていたネタをベースにしたんですが、そっちはもっとギスギスした主従でした。ギスギスもそれはそれで。最初にふわっと考えてた物より大分糖度が高くなっています。普段学バロしか描いてないから、鯖ディルが息をする様に恥ずかしい事するのでうわあうわあああってなりながら描きました。これが乙女ゲーキャラか…(震え)学バロは学バロで恥ずかしい物描いてるけどちょっと種類が違うみたいな。

何でディルムッドスーツよ???は一応武装分の魔力節約と言う事で…。魔力足りないんだったら霊体化しろよとかは作画と話の都合上言っただけはいけない。

あと最初の方第三の槍を不遇視で描いてるけどいつの間にか普通に描いてて、ああ…不遇視で描いてたの忘れたんだな…って思いました。

ではではここまでお読み下さりありがとうございます。
した。

BLOW

